



札幌市

火葬場・墓地の

あり方推進

協議会

第6回 総会

【本日の議題】

- 第1期協議会の取組みについて
- 第2期協議会の進め方
- 基本目標に対する取組みについて

令和5年8月28日

基本構想と協議会の役割



◎ 火葬場・墓地のあり方基本構想とは

“多死社会が訪れることによる火葬場や墓地の課題に対応するとともに、市民に生前のうちから葬送のことを自分事として考え、行動するきっかけとしてもらう”ために策定(2020年3月)

「葬送に関する**ビジョン**(将来の目指す姿)とその実現に向けた施策の方向性を示す」

ビジョン (将来の目指す姿)

みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち

基本目標 1

「葬送について考え行動する市民の意識を醸成します」

基本目標 2

「多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します」

基本目標 3

「少子高齢社会に対応した持続可能な墓地を実現します」

◎ 協議会の役割

市民
に
対して

意識
醸成の
取り組み

事業者
に
対して

参画事業者
による
情報共有

行政
に
対して

取組みや
進捗管理
への意見

第1期協議会(R3.1月~R4.12月)での主な取組み



運営計画の策定

基本構想に掲げるビジョン実現のために必要となる具体的取組みについて議論し、「**札幌市火葬場・墓地に関する運営計画**」を策定した。

意識醸成の取組み

- * キャッチコピーとロゴを作成
- * 情報発信の場としてTwitter開設
- * 地下歩行空間や区民センターでパネル展を開催



合葬墓の運用方法検討

多様な家族形態やライフスタイルの変化など社会情勢の変化に対応するため、これまで「**親族の遺骨を預ける札幌市民**」に限定していた利用を「**札幌市民として亡くなった方の遺骨を預ける親族（事実婚やパートナーシップ宣誓をした方を含む）**」まで拡大する方針とした。

第2期協議会の進め方（案）



<各目標に対する協議会の役割>

基本目標 1：意識醸成

- ・ 協議会が主体となって取組みを検討、実施

基本目標 2：火葬場

基本目標 3：墓地

- ・ 運営計画に沿って取組みを進める段階
- ・ 協議会は、進捗確認とそれに対する意見交換を主に行う
⇒ 取組みの方向性に関する議論は原則として行わない

<「(仮称)第2次運営計画」に向けた議論>

令和8年4月に始まる予定の「(仮称)第2次運営計画」に向けた議論は、
現計画の進捗を鑑みながら、第3期協議会(R7.4～)にかけて実施する

⇒ 以上のことから総会での議論を中心とし、
部会は必要に応じて設置する

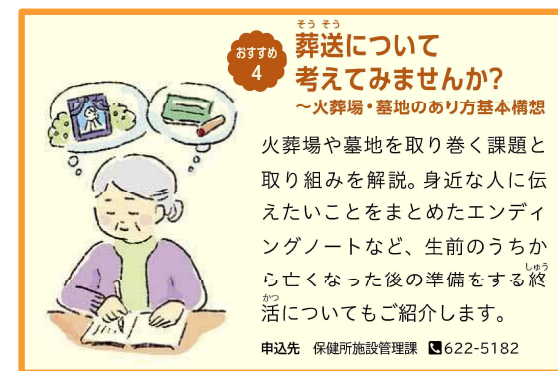


出前講座

- 今年度から新たに
「葬送について考えてみませんか？」を
テーマに講座を開設（別添資料）

- 本日時点で3件実施済み

※ 出前講座とは：市職員が市民の要望に応じて地域に出向き、市の施策や事業について説明を行う取組み



市民ワークショップ

火葬場や市営霊園の持続可能な運営の検討をとおして、
葬送について考えていただくため、里塚斎場及び里塚霊園の
見学会を実施後、グループディスカッションを行う。

具体的な議論のテーマは現在検討中。

<令和5年11月 1回3時間×2回 各回30名程度>



情報発信

市の取組みだけでなく、協議会委員が出席するイベント等も発信していく

⇒ X（旧 Twitter）以外の情報発信方法も要検討

パネル展 / シンポジウム

- ・昨年度は地下歩行空間でパネル展を実施し、不特定多数への情報発信の場として有効であった
- ・パネル展に限らず、シンポジウムなどによる情報発信を検討

⇒ どのような取組みが効果的か議論いただきたい

火葬場に関する取組み（全体像）



【凡例: 検討・調査 企画・調整① 企画・調整② 実践】

年度 時期	2023年度(R5年度)				2024年度(R6年度)				2025年度(R7年度)				2026年度(R8年度)		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
基本目標② 多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します ㉔里塚斎場の建替・改修手法 ㉕火葬場の友引開場 ㉖火葬場の予約システムの導入 ㉗火葬場の運営手法の検討 ㉘火葬場の広域利用についての協議 ㉙火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し	㉔ 里塚斎場の建替・改修手法 整備手法の選定に向けた調査の実施				事業方式・事業期間等の選定に向けた調査の実施				選定結果をもとに整備計画を策定				整備計画実施		
	㉕ 火葬場の友引開場【重点】 実施方法検討 関係者との調整				予約システムの効果を踏まえた詳細検討及び調査等				新料金制度等を踏まえた制度設計、関係機関周知				本格実施		
	㉖ 火葬場の予約システムの導入【重点】 システム構築 導入準備				本格実施・効果検証										
	㉗ 火葬場の運営手法の検討(山口斎場) 次期契約に向けた事業期間、事業費、契約内容等の検討				事業者選定		契約議決		事業者間の引継譲渡手続				新事業運営開始		
	㉙ 火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し 他都市調査 市民意見聴取				新料金制度の検討		条例案作成		条例改正		体制構築・市民周知				新料金制度施行

火葬場に関する取組み ①（令和5年度について）



予約システム構築

時間帯による火葬場の混雑を平準化するため、予約システムを導入

- ・ 公募型企画競争により事業者決定済み
- ・ 今年度中に実施予定

里塚斎場の建替・改修手法

施設老朽化や構造上の不具合がある里塚斎場の再整備に向けた調査

- ・ 公募型企画競争により事業者決定済み
- ・ 今年度中に整備手法を選定予定

火葬場使用料の検討（霊園管理料の検討とセットで実施）

火葬場運営の安定化について検討

- ・ 委託事業によりアンケート調査、ワークショップを実施
- ・ 今年度中に幅広く市民意見を聞く

火葬場に関する取組み ②（令和5年度について）



山口斎場の次期運営事業

山口斎場の次期事業に向けて事業範囲や事業費等の構築を進める

- ・ 令和4年度に事業構築に係るアドバイザー事業者決定済み
- ・ 来年度に事業者選定を行えるよう今年度中に事業内容を構築

残骨灰等の無害化等処理

残骨灰及び集じん灰の無害化及び減容化処理を実施

- ・ 一般競争入札により事業者決定済み
- ・ 今年度から残骨灰に加えて集じん灰の処理を実施



合葬墓の運用方法の検討

新合葬墓の整備に向けた検討

- ・ 令和6年度中の基本計画策定に向け、業務委託により必要な調査を行う

霊園管理料の検討（火葬場使用料の検討とセットで実施）

霊園運営の安定化について検討

- ・ 委託事業によりアンケート及びワークショップを開催
- ・ 今年度中にワークショップ等により幅広く市民意見を聞く